

令和6年度

第1回 入学試験問題

社 会

★ 注意事項 ★

1. この問題は、12ページあります。「はじめ」の合図があるまでは開かないこと。
2. 解答用紙は中にはさんであります。受験番号・氏名を必ず記入すること。
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 印刷が不鮮明^{ふせんめい}だったり、ページがぬけ落ちたりしているときは、すぐに申し出ること。
5. 「やめ」の合図があつたら鉛筆^{えんぴつ}を置き、先生の指示にしたがうこと。

サレジオン国際学園中学校

【1】地理分野に関して、次の問いに答えなさい。

2023年は「ワールドカップ」と称するスポーツの世界大会がいくつも開催されました。7月～8月にかけて開催されたFIFA女子ワールドカップ（サッカー）、8月～9月にかけて開催されたFIBAバスケットボール・ワールドカップ、9月～10月にかけて開催されたラグビーワールドカップ、ワールドカップバレーなど、日本代表の熱い戦いにより盛り上がりを見せました。

FIBAバスケットボール・ワールドカップは日本、フィリピン、インドネシアの共同開催ということで、国内でも大きく注目されました。日本代表の試合はすべて(a)沖縄県で行われました。この大会で、日本は今年行われる A オリンピックの出場権を獲得しました。

スポーツを見ていると、時代の変化を感じることがあります。例えば、(b)IT産業のスポーツ業界への参入です。近年のスポーツの試合では、監督やスタッフがタブレットを持ち、試合中にさまざまなデータ分析を行っている姿をよく見かけます。また、ビデオ判定など審判を手助けする役割をITが担っています。

また、世界大会の試合を見ていると、各国代表はさまざまな人種の選手で構成されていることがわかります。日本代表も、日本国籍を得た海外生まれの選手が昔に比べて増えてきています。スポーツにとどまらず、(c)近年日本には多くの移民が流入しています。

21世紀の世界は「情報化」、「グローバル化」が加速する時代です。このように、時代の変化にともない、スポーツも変化しているのです。

(1) A にあてはまる都市名を答えなさい。

(2) 次の表は、文章中で紹介した2023年に開催された世界大会とその開催国を示しています。表の6か国のうち、5か国が加盟している国際組織・枠組みを、下のア～エのうちから1つ選びなさい。

大会	開催国
FIFA女子ワールドカップ	オーストラリア・ニュージーランド共同開催
FIBAバスケットボール・ワールドカップ	日本・フィリピン・インドネシア共同開催
ラグビーワールドカップ	フランス
ワールドカップバレー	日本

ア 国際連合

イ EU（ヨーロッパ連合）

ウ ASEAN（東南アジア諸国連合）

エ APEC（アジア太平洋経済協力）

- (3) 次のア～エの文は、ある4つの都道府県について説明したものです。3つは過去にオリンピックの開催地となった都市のある都道府県、1つはオリンピックの開催地になったことのない都道府県です。オリンピックの開催地になったことのない都道府県を説明した文を、ア～エのうちから1つ選びなさい。また、その都道府県名も答えなさい。

ア 京浜工業地帯^{けいひん}に位置しており、日本中の情報が集まることから印刷・出版業が盛んである。

イ 客土により土地が改良された石狩平野^{いなく}での稲作が盛んである。

ウ レタスの生産量が日本一で、涼しい高原^{すず}の気候をいかした抑制栽培が行われている。

エ 日本三名園の兼六園などの観光地が有名で、新幹線の開通以降観光客^{おおはば}が大幅に増加した。

- (4) 下線部(a)について、沖縄県では特徴^{とくちょう}的な自然環境^{かんきょう}が住宅のあり方に影響^{えいきょう}を与^{あた}えています。次の表は、全国、秋田県、沖縄県、東京都における住宅の建て方と構造の割合を示したものです。沖縄県にあてはまるものを、表中のア～ウのうちから1つ選びなさい。また、全国と比べて大きく異なる沖縄県の住宅のあり方の一因となっている自然環境の特徴を簡単に説明しなさい。

単位は%	建て方			構造	
	一戸建て	共同住宅	その他	木造	非木造
全国	54.9	42.4	2.7	57.8	42.2
ア	81.0	17.2	1.8	87.2	12.8
イ	27.8	70.0	2.2	36.1	63.9
ウ	42.3	55.9	1.8	4.5	95.5

(総務省統計局 平成25年住宅・土地統計調査より作成)

(5) 下線部 (b) について、IT 産業に欠かせない半導体に関する文として、誤っているものをア～エのうちから 1 つ選びなさい。

- ア 軽量で高価という特徴から、飛行機で輸送されることが多く、工場も空港の近くに立地する傾向がみられる。
- イ 世界に占める日本の半導体生産額の割合はここ 30 年で大幅に低下しており、代わりに韓国や台湾が台頭してきた。
- ウ 新型コロナウイルス感染症の流行によるテレワークの普及が、世界的な半導体の需要増大と、供給不足を加速させる一因となった。
- エ 半導体工場が集積していることから、九州地方はシリコンロードと呼ばれている。

(6) 下線部 (c) について、次の表は日本における在留外国人の出身国・地域の上位を示したものです。表中の (X) にあてはまる国名を答えなさい。

1 位	中国	7 8 6 8 3 0 人
2 位	韓国	4 3 5 4 5 9 人
3 位	ベトナム	4 2 0 4 1 5 人
4 位	フィリピン	2 8 2 0 2 3 人
5 位	(X)	2 1 1 1 7 8 人
6 位	ネパール	9 5 3 6 7 人
7 位	インドネシア	6 6 0 8 4 人
8 位	台湾	5 9 9 3 4 人
9 位	アメリカ合衆国	5 7 2 1 4 人
10 位	タイ	5 3 3 4 4 人

(出入国在留管理庁より作成)

(7) 時代の変化にともない、21 世紀になってから絵具やクレヨンの「とある色の表記」が少なくなりました。その色の表記は最近では「うすだいい色」や「パールオレンジ」などに変わってきています。かつて使用されていた「とある色の表記」を答えつつ、最近でその表記が変わってきている理由を説明しなさい。

問題用紙は次のページに続きます。

【2】歴史分野に関して、それぞれの人口の移り変わりに関する資料を見て、次の問いに答えなさい。

(1) リオさんとかおるさんは資料Aの「東京都の総人口の移り変わり」のグラフについて研究しました。次の会話文をよく読んで、各問いに答えなさい。

リオ： A から東京に名前が変わったのは、明治元年（1868年）なんだってね。

かおる： そうみたいだね。その翌年^{よくとし}に天皇が B から東京にうつったらしいよ。

リオ： 天皇はそれまでずっと、 B に住んでいたんだっけ？

かおる： C 時代から 1000 年以上、ずっと B にいたんだよ。だから、天皇が東京にうつる時は、 B では反対運動が起こったみたいだよ。

リオ： (a) 明治政府 も、たくさんの新しい政策^{せいさく}をする前に、まず首都をどこにするかの大問題^{かいけつ}を解決したかったんだね。

かおる： 明治時代の東京の人口は、明治の終わりには 2 倍以上に増えているね。

リオ： どんどん日本の政治、経済、文化の中心地になっていったんだね。

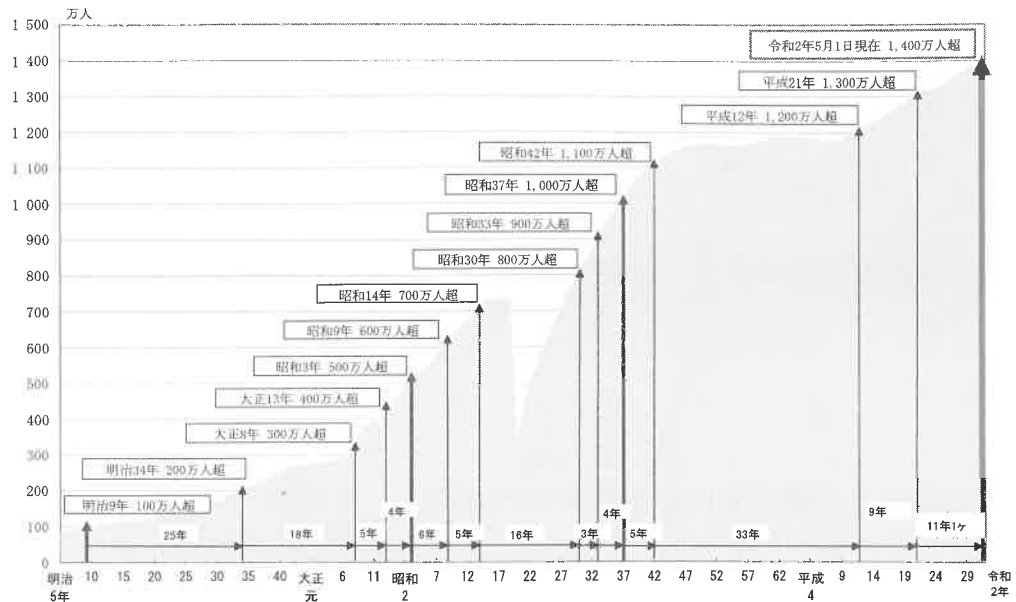
かおる： (b) 大正時代 から昭和時代では東京都の人口増加のスピードははやくて、あっという間に 700 万人を突破^{とっば}したね。でも昭和 18 年から昭和 20 年にかけては急に減少しているね。

リオ： きっと、この期間に起こった（ X ）が原因なんだろうね。

かおる： そうか、（ X ）が原因で、東京に住んでいる人たちは（ Y ）と考えて、東京を離^{はな}れていったんだね。

資料A

東京都の総人口の移り変わり



(出典：東京都)

- ① 会話文中の **A** ～ **C** にあてはまる語句をそれぞれ漢字2文字で答えなさい。

- ② 会話文中の下線部 (a) について、明治政府がおこなった政策を時代の古い順に並べたものとして正しいものをア～エのうちから1つ選びなさい。

- ア 地租改正→廃藩置県→日清戦争→日露戦争→大日本帝国憲法
- イ 大日本帝国憲法→廃藩置県→日清戦争→日露戦争→地租改正
- ウ 廃藩置県→地租改正→大日本帝国憲法→日清戦争→日露戦争
- エ 日清戦争→大日本帝国憲法→日露戦争→地租改正→廃藩置県

- ③ 会話文中の下線部 (b) について、右の風刺画に最も関係する歴史的出来事を次のア～エのうちから1つ選びなさい。

- ア シベリア出兵
- イ 大正デモクラシー
- ウ 第一次世界大戦
- エ ロシア革命



- ④ 会話文中の（ X ）にあてはまる、東京の人口減少^{げんしょう}の原因の1つと考えられる歴史的事件名をア～エのうちから1つ選びなさい。

ア 関東大震災

イ 東京大空襲

ウ 二・二六事件

エ 日比谷焼き討^うち事件

- ⑤ ④の解答を受けて、会話文中の（ Y ）にあてはまる語句を考えて答えなさい。

- （2）次の資料B「縄文時代から弥生時代の時期・地域別人口」表を読み取った内容の文章として正しいものを、下のア～カのうちから2つ選び、記号で答えなさい。

資料B

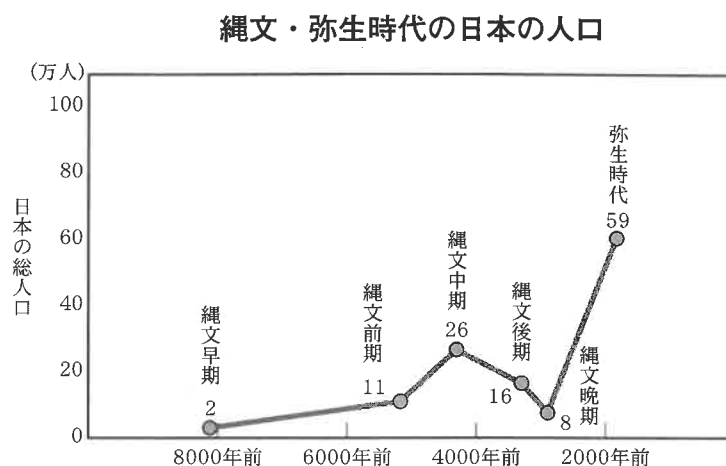
縄文・弥生時代の時期・地域別人口

	早期	前期	中期	後期	弥生
東北	2,100	19,200	46,700	43,800	33,800
関東	10,300	43,300	96,600	52,100	100,100
北陸	400	4,200	24,600	15,700	21,000
中部	3,200	25,300	71,900	22,000	85,100
東海	2,400	5,000	13,200	7,600	55,900
近畿	300	1,700	2,800	4,400	109,400
中国	500	1,300	1,200	2,700	59,400
四国	600	400	200	2,700	30,500
九州	2,100	5,600	5,300	10,000	106,300
合計	21,900	106,000	262,500	161,000	601,500

- ア 縄文時代早期から後期すべての時期で四国の人口は一番少ない。
- イ 縄文時代早期から後期すべての時期を通して一番人口が多いのは関東地方である。
- ウ 縄文時代前期から中期にかけては、すべての地域で人口が増加している。
- エ 縄文時代後期から弥生時代にかけて、一番人口が増加したのは、近畿^{きんき}地方である。
- オ 縄文時代中期から後期にかけては、すべての地域で人口が減少している。
- カ 弥生時代に一番人口が多いのは九州地方である。

- (3) 次の資料Cは、「縄文早期から弥生時代の日本の人口」のうつりかわりを表しています。次の各問いに答えなさい。

資料C



- ① 縄文時代の人口を推計（推定して計算すること）できるものをア～エのうちから1つ選びなさい。

- ア 水田面積
- イ 戸籍
- ウ 武器の数
- エ 住居跡の数

- ② 縄文早期から中期にかけて人口が増えた原因の一つに道具の発明による影響が考えられます。次の2つの道具の発明が人口の増加にどのような影響をおよぼしたのか、2つの用語を必ず使って具体的に説明しなさい。

〈 土器 弓矢 〉

【3】公民分野に関して、次の問いに答えなさい。

- (1) 次の条文は日本国憲法の一部である。(A)に入る語句を漢字4字で答えなさい。

第22条 何人も、公共の福祉^{ふくし}に反しない限り、居住、移転^{およ}及び(A)の自由を有する。

- (2) 日本国憲法が保障する自由権は、精神の自由・身体^{しんたい}の自由・経済活動^{けいぎ}の自由の3つに分類される。精神の自由に分類されるものをア～オのうちから2つ選びなさい。

ア. 学問の自由 イ. 裁判を受ける権利 ウ. 思想^{しゆ}及び良心^{りんしん}の自由
エ. 財産権の保障 オ. 奴隷^{どれい}的拘束^{きゆうそう}及び苦役^{くやく}からの自由

- (3) もしあなたが選挙に立候補するとしたら、どのような政策を主張すれば、当選しやすくなると考えますか。 B ～ D に入る文を考えて書きなさい。

子育てをしている色々な世代の人を対象にすれば、幅広い年代から支持が得られると考えられる。そのため B といった政策を主張すべきである。

10代は投票する人が少ないので、 C といった政策を主張すれば投票する人が増えると考ええる。

最も投票率^{およ}及び人数が多い高齢者^{こうれいしゃ}の票を獲得^{かくとく}するためには D といった政策を主張すべきである。

- (4) 貨幣^{かへい}の機能について、 E に入る言葉を考えて書きなさい。

金や銀は、野菜や果物とちがって E 。つまり、金や銀は価値が変動しないためいつでも好きな時に使って、いつまでも貯蓄^{ちよちく}ができる。

- (5) 消費税の問題点について、次の F に入る言葉を考えて書きなさい。

低所得者も高所得者も同じ金額の税負担を求められるため、低所得者ほど F という問題が生じる。

問題用紙は次のページに続きます。

【4】次の文を読んで、設問に答えなさい。

9世紀から13世紀にかけて世界各地で気温が^{じょうしやう}上昇しました。この＜中世温暖期＞にはヒトとモノの交流が^{さか}盛んになりました。^{こういど}高緯度の寒い地域の人びとの活動が活発化します。日本では先住民族である(a) Aの人びとが10世紀以降北海道全体に散らばるようになり、そこから、サハリンや千島へも進出していくようになります。また、ユーラシア大陸の交流は古くからシルクロードによって支えられていたわけですが、その一気に幅が^{ひろ}広がった交流を巨大な帝国として統合したのが(b) B高原の人びとでした。彼らは海上への展開も^{くわだ}企て、鎌倉時代の日本へ^{ぶっそう}物騒な仕方やって来たりもしました。

ところで、そうした B の帝国を、温暖化のピーク期の13世紀に訪ねたヨーロッパ人が4人います。キリスト教の修道士で、イタリア人が2人、フランス人が1人。あと、(c) イタリア人の商人が1人。実はこのイタリア人の商人、仏教の開祖ブツダについて最初に本質的な記録を残した人物です。その旅行記『世界の記述』(^{とうほうけんぶんろく}東方見聞録)には、ブツダは(d) “世界で最上の C”と見なされており、彼ら(アジア人)の信仰によれば D です、と記されています。黄金の国ジパングへのこだわりに見られるように、東方世界の富に強い興味のあった実利的な人物ですが、一方で、キリスト教と仏教の本質的な違いを見抜いていた^{かんそう}観想的な人物でもあるようです。

さて、14世紀になると、世界は一転して＜^{しょうひやうき}小氷期＞と呼ばれるほどの気候の寒冷化に^{みま}見舞われます。特に寒さが厳しかったのは1280～1340年ごろ(13世紀末～14世紀前半)、1420～1530年ごろ(15世紀初め～16世紀前半)、です。歴史に詳しいみなさんの頭の中にはきっと関係のありそうな色いろな事件が^う浮かんでいることでしょう。(e) 15世紀には、ポルトガルとスペインを皮切りに、ヨーロッパの国ぐにが海を^{わた}渡ってアフリカやアジアやアメリカ大陸にまで出かける＜大航海時代＞がやって来ます。そして、スペインやポルトガルの船にはキリスト教の宣教師が乗っていました。あのフランシスコ＝ザビエルが日本へたどり着いたのは1549年。まさに、この16世紀ごろから、(f) アジアの仏教に関する記録と、布教がままならないことの^{なや}悩みの報告がたくさんヨーロッパへもたらされるようになります。

17世紀にはティベットを訪れた宣教師がラマ教と出会いますが、それが仏教であることには気付かせませんでした。18世紀にはイギリスとフランスの進出によって、インド学がようやくヨーロッパ人のあいだできちんとした学問分野になりました。そして19世紀に入ってヨーロッパ人はBuddhism(ブツディズム)という言葉で“仏教”の意味を使いはじめ、その^む無や^{くう}空の考えが意味することに気付いて、キリスト教信仰を^{くず}崩しかねない強敵として^{けいかい}警戒しはじめるのでした。

(1) 下線部 (a) について、A をカタカナで答えなさい。

(2) 下線部 (b) について、B をカタカナで答えなさい。

(3) 下線部 (c) について、この人物の名前をア～エのうちから 1 つ選びなさい。

ア マシュー＝ペリー

イ マルコ＝ポーロ

ウ エドワード＝モース

エ アーネスト＝フェノロサ

(4) 下線部 (d) について、C ・ D を埋めるのにふさわしい組合せをア～エのうちから 1 つ選びなさい。

ア C 神

D ^{ひぞうぶつ}被造物

イ C 神

D 造物主

ウ C 人間

D 預言者

エ C 人間

D 聖人

(5) 下線部 (e) について、大航海時代が来た理由はいくつか考えられます。その 1 つを説明する次の文の E ・ F を、文脈に合わせてあなたなりの表現を考えて埋めなさい。

寒冷化とともに農業生産力が落ちたので
きびしい条件でも E を探して手に入れたり、
温暖期に増えすぎた国内の人口を適正なバランスに^{もと}戻すために
F ^{かいたく}を開拓したりするため。

(6) 下線部 (f) について。ザビエルの手紙には次のような場面が記されています。彼が、善なる全知全能の神の教え（キリスト教）の洗礼を受けずに死んでしまった人びとは今みんな^{じごく}地獄にいる、と説くと、その説教を聞いていた^{そぼく}素朴な日本人たちが彼を^{かれ}質問攻めにして、^つ詰めよります。ザビエルは、布教者としての自分の限界を試された、と落ちこむのですが、詰めよった日本人たちは一体どのような質問・反論をしたと思いますか。あなたの考えを論理的に述べなさい。

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

得点	
----	--

【1】

(1)		(2)		(3)	記号	都道府県名
-----	--	-----	--	-----	----	-------

(4)	記号	
	自然環境の特徴	

(5)		(6)	
-----	--	-----	--

(7)	
-----	--

【2】

(1)	①	A			B			C			②		③		④	
	⑤															

(2)		
-----	--	--

(3)	①	
	②	

【3】

(1)		(2)		
-----	--	-----	--	--

(3)	B	
	C	
	D	

(4)		(5)	
-----	--	-----	--

【4】

(1)		(2)		(3)		(4)	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

(5)	E		F	
-----	---	--	---	--

(6)	
-----	--